

経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 御嵩町

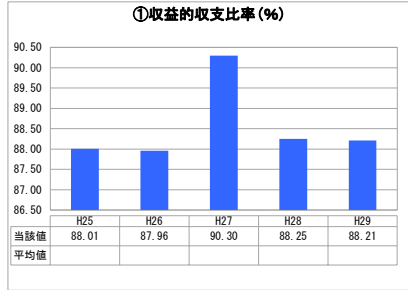
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	66.25	77.20	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,448	56.69	325.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,220	5.46	2,238.10

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



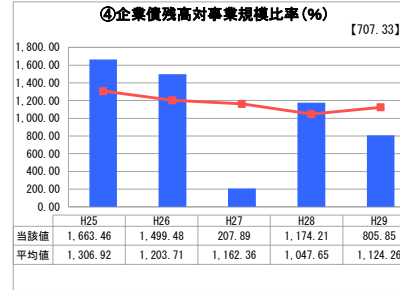
「単年度の収支」



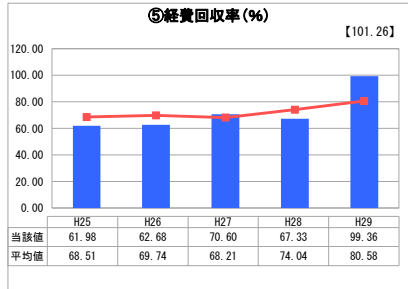
「累積欠損」



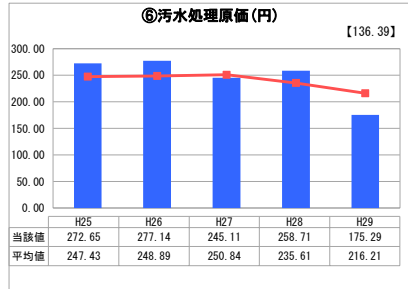
「支払能力」



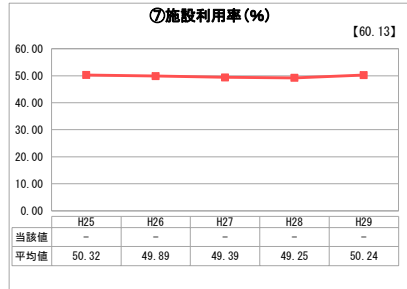
「債務残高」



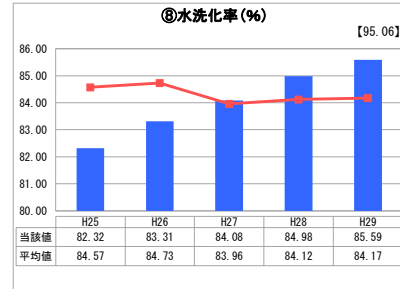
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

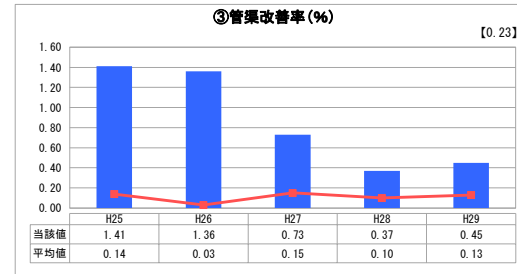
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度①収益的収支比率は、前年度と比較してほぼ同じ(88.21%)であり単年度の収支は赤字である。今後経営改善に向けた取り組みが必要である。④企業債残高対事業規模比率は、企業債の借入を年1億円程度に抑えており、借入よりも多くの償還を行っていることから減少している。また、平成27年度の数値については誤りであり正しくは1299.22であります。⑤経費回収率は、前年度と比較して使用料収入の増加と維持管理に要した費用の減少により(32.03%)増加している。⑥汚水処理原価は、有収率の向上(3.08%)により減少している。⑧水洗化率は、前年度と比較して(0.61%)増加しており、下水道整備や水洗化への取り組みを引き続き推進していきます。

2. 老朽化の状況について

御嵩町の下水道施設は平成3年度より整備されており、平成8年度から供用開始を行っております。開発団地の汚水施設を接続し、布設が40年を超える管渠施設については、長寿命化対策事業により管渠更生を実施しています。(平成29年度は西田団地の管渠更生工事を行いました。)今後、下水道施設の維持管理をしていくため、長寿命化対策事業の対象外事業については、ストックマネジメントの導入を検討し、既存の下水道施設の点検や評価を行い、維持管理主体の事業に備えていきます。

全体総括

平成29年度は、維持管理に要した費用が前年度と比較して減少しており、経費回収率は増加し汚水処理原価は減少しました。御嵩町の下水道処理施設については、長寿命化対策事業により管渠更生を実施した一部を除き、平成3年度から布設した管渠施設は27年経過しており、今後は「御嵩町汚水処理施設整備構想」に基づき下水道整備を実施していく中で、既存の下水道施設の維持管理に対し、ストックマネジメントの策定を行うことや、平成31年度から公営企業会計を適用することにより、経営状況の見える化を図り、経営基盤の安定化を目指します。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。